

通信 **第78号** 住所 〒044-0053
とともに 2020年2月17日発行 北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
 認定NPO法人とともに でんわ (0136) 55-5828
 FAX (0136) 55-5829
 Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com> ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

サポーターズカップに参加

昨年12月21日、札幌市北区体育館で「第10回ソーシャルフットボールサポーターズカップ」が開催されました。K.S.C.Juntosは最後の順位決定戦で勝利し、13チーム中12位と有終の美を飾りました。

今年も強化に取り組み、より上位につけるようがんばります。ご声援よろしくお願い致します。

参加チームは毎年拡大しており、今回は旭川市からも初めて参加があったそうです*4。ソーシャルフットボールの広がりを感じさせる大会でした。



第10回ソーシャルフットボールサポーターズカップ 最終成績

1位	トットランド
2位	カタカナ アリアンサ
3位	い〜やつら
4位	Safilva A
5位	札幌SC
6位	あしすと
7位	Safilva B
8位	ここスマ
9位	ひらがな ありあんさ
10位	ウィンターハビック
11位	ふおれすと
12位	K.S.C. Juntos
13位	北海道医療大学

精神科医 土田正一郎の



その64 恐怖感

怖いのは、相手の正体が分からないからだを改めて確認したのは、コロナウイルス肺炎のおかげである。どのくらいの病原性を持っているのか、今のところはっきりしていないので、とても不安である。人ごみの中に行くのは止めようかなとも思っている。

ウイルスは見えないから、質が悪い。見えないものはやっぱり怖いのだ。見えるようになれば、対応のしようもあるかもしれない。見えるとは、言葉にすることである。精神疾患もそうかもしれない。

各事業報告～1月末現在

- 障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移行4人、B型22人 見学/3人、体験/0人
- グループホーム よろこび 入居者数 21人 見学/0人、体験/0人
- K.S.C. Juntos 当事者選手 13人 サポートスタッフ 18人
- ◆法人会員 正会員21人、賛助会員 団体6 個人77人
- ◆今年度寄付金 のべ16人 1,215,880円
- ◆寄付物品 牛乳パック 食品(米)

編集後記 今年もよろしくお願いします。感染症が猛威をふるっている話を3ページに掲載しました。予防をすることはもちろんですが、今回の感染症による行き過ぎた風評被害や差別があってはいけないと思います。本文にも書きましたが、「正しい知識を得て、正しく怖がる」ことを私たちは意識して過ごしたいですね。(かわさき)



1月18日 倶知安町旭ヶ丘にて撮影

新年のごあいさつ

理事長 小林敦子

私たちにできる地域に根差した つながる福祉をめざして!



新年あけましておめでとうございます。

昨年も異常気象による自然災害が相次ぎ、日常的に事業所の備えを点検する重要性を再認識した年でした。また10月に倶知安町でG20観光大臣会合が開かれ、リゾート開発と相まって明るい話題の半面、地価高騰・住居不足で暮らしにくい地域の現実もさらに浮き彫りになっています。

障がい者の雇用が当たり前の話題となり、障がい者が望む生活スタイルが普通に実現される地域になるよう、私たちにできることをひとつずつ積み重ねてまいりたいと思っております。

本年も皆さまとともに笑顔多い一年を送れますよう祈念し新年のご挨拶といたします。



諸事情により2カ月間発刊できなかったことをお詫びいたします

道路の上でも「共生」を～ともに講演会

昨年11月23日、当法人の講演会「高齢ドライバー問題から生活環境を考える」を倶知安町のホテル第一会館で開催しました。

講師は東京からNPO法人高齢者安全運転支援研究会事務局長の平塚雅之さんでした。会場の参加者の年齢層から、今回は認知度が低下した方が運転した実際例を動画で紹介し、運転をしていくうえでの注意点、免許返納のタイミング、さらには家族や周りの人たちはどのように返納をすすめるかについてのアドバイスを話していただきました。講演の一部をご紹介します



高齢者＝悪者ではない

高齢ドライバーの事故は自損事故、すなわち壁や電柱にぶつかったり、側溝に落ちたりが大部分です。マスコミは悲惨な事故を取り上げますが、決して高齢者＝悪者じゃない。

交通事故の死者数は1970年の1万5千人以上いたのをピークに、今ではその5分の1になっています。これは道路事情や自動車の改善、そして今の高齢ドライバーが運転意識改善した効果であり、それが日本社会を支えてきました。一方で若年層の死者数は依然として高いことも見逃してはいけません。

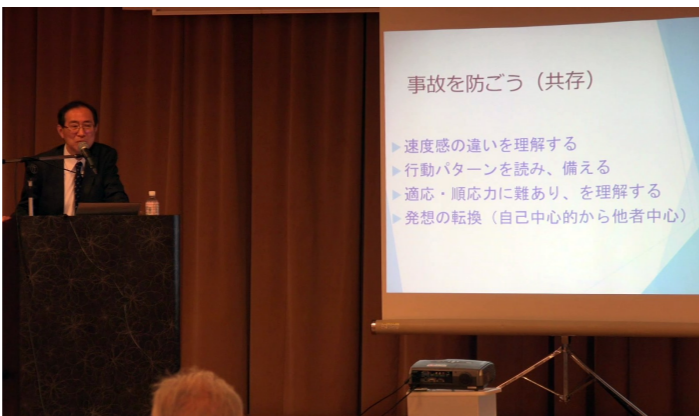
高齢ドライバーの事故を分析していくと、①自分は過去無事故無違反だったという「自信過剰さ」、②運転技術を変えない「頑固さ」、③視力、認知力、身体能力の衰え、この3つが主な要因です。

「今まで運転ありがとう」

免許をとって以来誰からも指導を受けられなかった高齢ドライバー、そして子どものころ道路交通法を教えられずに育った若者、ほかにも道路上にはさまざまな人がいます。こういった人々と共生するためには、自分と異なる世界観を持つ人がいることをお互いに自覚しなければいけません。

免許返納するために、子が長年運転してくれた親への感謝を伝え、「ここが悪い」と指摘するのではなく「こうしてほしい」と依頼し相談する。愛しい孫から車酔いしない運転を依頼する、そして運転者自身の視力、認知力、身体能力を自覚し、「買い物にだけ車を使おう」「昼間だけの運転にしよう」などの「補償運転」をするのが良いですね。

いつかは運転を卒業する日が来ます。そのために段階を踏んで実践して行ってほしいです。



後志地域では

講演の終了後、後志地域での現状などについて、2人の方に報告していただきました。倶知安地方交通安全協会連合会の事務局長をされている稲村幸彦さんは、交通安全協会の取り組みとして各種交通安全協会の開催や運転免許返納にかかる費用を助成（羊蹄山麓の各交通安全協会のみ）していることを話していただきました。

株式会社東海日動パートナーズ北海道札幌支店小樽支社勤務の高橋堅一郎さんは、保険業として後志地域の状況を事前に話していただいたものを事務局が代読しました。後志でも高齢ドライバーの事故は自損事故が多いということです。また自分の運転をかえりみると同時に、事故を起こしたのは自分が悪いと感じてしまうため、ドライブレコーダーの設置を勧めているということです。

感染症 みなさんも気をつけて！

このごろ新型コロナウイルスに感染した方が世界中で急増し、WHO（世界保健機関）も1月30日に「国際緊急事態」を宣言しています。さらに毎年この時期はインフルエンザウイルスなどの感染症にかかりやすいため、「かからない」「うつさない」という心構えが必要です。

厚生労働省は感染症対策のリーフレットを配布し、注意喚起しています。その資料を参考に、私たちが注意すべきことをお伝えします*3。「正しい知識を得て、正しく怖がる」が大事です。

感染症にかからない！ ～予防しよう～

こまめに手を洗おう～帰宅時、調理前後、食事の前～



予防の極意
※ハンドソープをたっぷりつかい、指の付け根まで丁寧に
※手を拭くときはなるべくペーパータオルをつかう
※水を止めるときはレバーに洗った指を触れない
※手洗い後はアルコール消毒。ポンプは最後まで押し下げる
～ハンドソープ、アルコールはケチらず使いましょう～

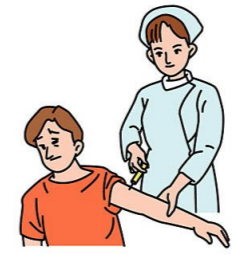
せき 咳エチケットのすすめ



予防の極意
※マスクはすき間をつくらない
※使ったティッシュはすぐ捨てる
※使ったハンカチはこまめに洗う
※素手で咳を受けとめない

よほうせっしゅ 予防接種を受けましょう

- インフルエンザ（毎年秋が目安）
- MR（麻しん風しん混合） など
～無料クーポン券が届いた男性の方はお早めに抗体検査を



感染症をうつさない！ ～かかったときは～

無理せず休みましょう、休ませましょう

- 熱が下がってもウイルスが体内に残っていることがあります。
- 休むことで他の方に感染することを防ぐことができます
- 家庭や職場でも声を掛け合いましょう。

コロナウイルスについて
通常の「かぜ」と言われるものについて、流行期のおよそ3割が在来4種のコロナウイルスによるものと言われている【国立感染症研究所】。今回中国の武漢などで増加しているウイルスは新型で、重症化すると肺炎の危険性がある。執筆している2020年2月現在新型に効果のあるワクチンはまだできていない。

こんな症状に気をつけましょう
(症状は各感染症で異なります)
• 発熱（38度以上なら受診を）
• 咳が止まらない
• 身体がだるい、悪寒
• 吐き気、下痢がつづく
• 筋肉の痛み
• 呼吸困難 など